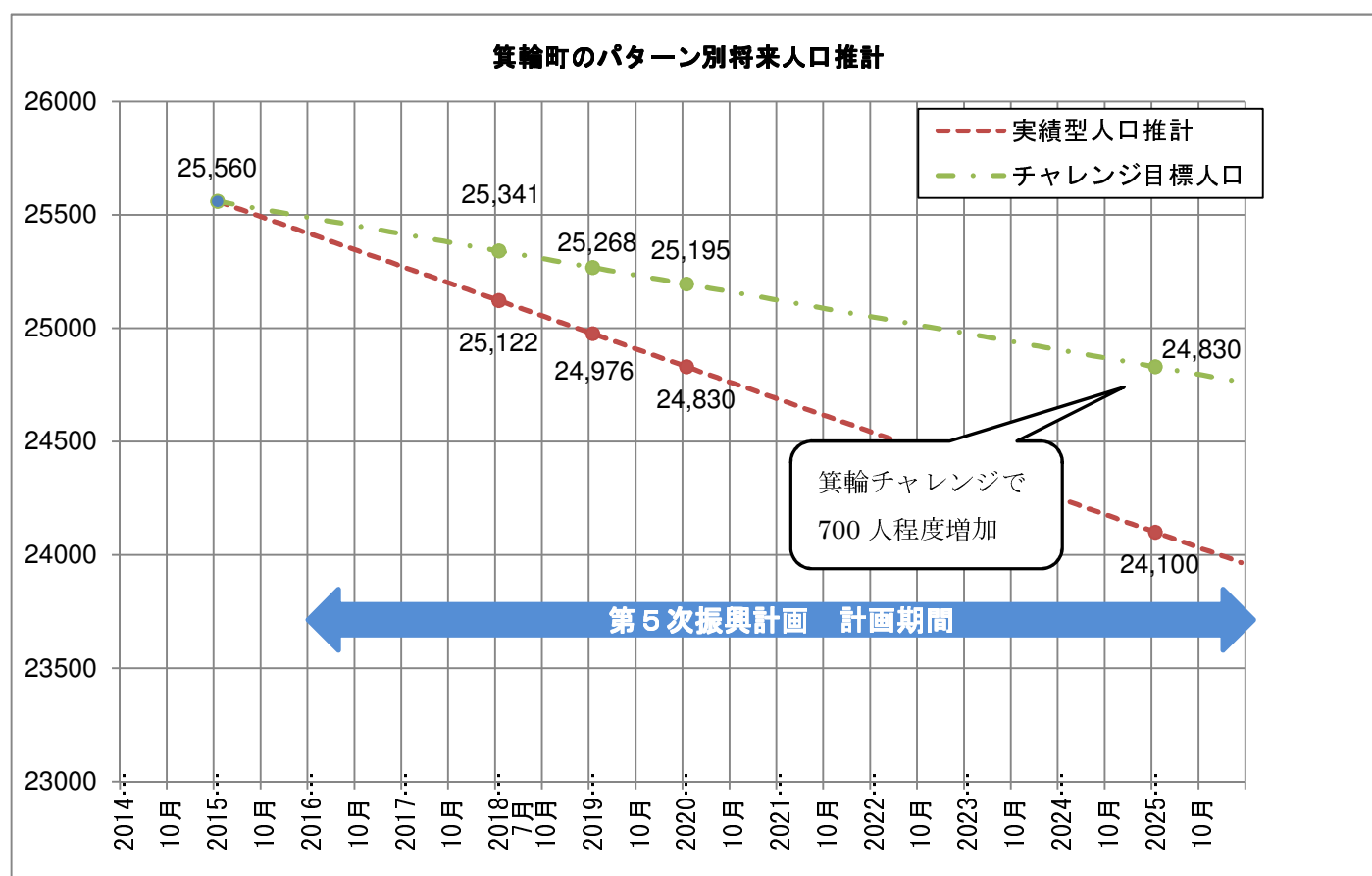


人口動向について

○箕輪町の将来人口推計と第5次振興計画の目標

箕輪町における将来人口を予測した結果、2025年の人口は、平成27年(2015)年より約1,500人減少し24,100人程度となると見込まれます。人口が減少する時代では、公共事業や社会保障を支える税収の減少や、高齢化による社会保障費の増大、担い手不足によるコミュニティの弱体化など、暮らしを脅かす様々な課題が想定されます。

そのため、「箕輪町第5次振興計画」は、人口減少時代に挑戦する計画として平成28年(2016年)に策定されました。計画では、チャレンジ目標の1つとして人口規模の維持を掲げており、平成2025年には24,100人程度まで減少すると予想されている人口を、①人口の自然増、②人口の社会増により24,800人以上に維持することを目指しています。

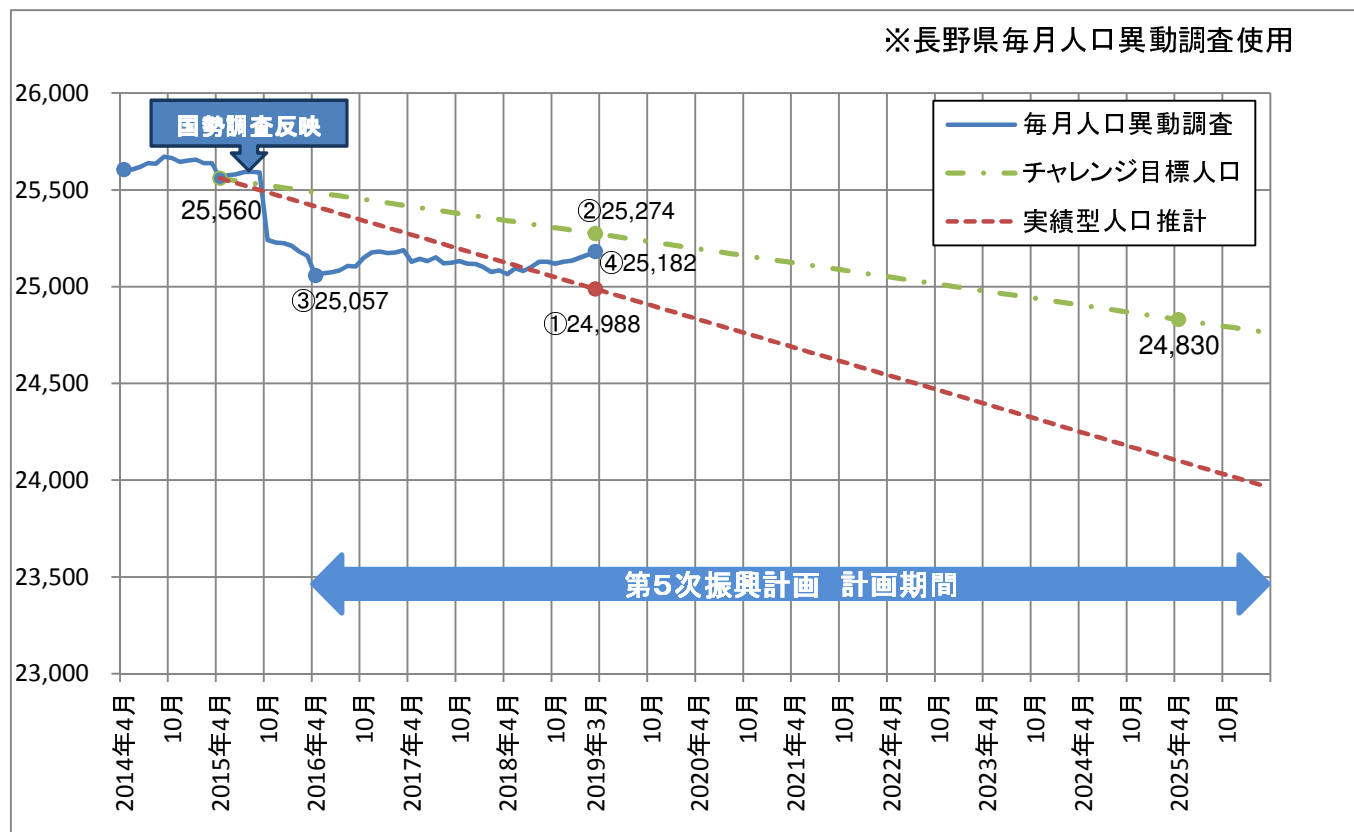


【解 説】

実績型推計人口：国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）の人口推計について、起点を2015年4月の実績人口に補正し、2010年から2015年の実績による移動率で補正算出した人口。

チャレンジ目標人口：以上の実績型推計人口について、出生数と転入者数を上方補正し算出した推計人口。

○箕輪町の人口の現状

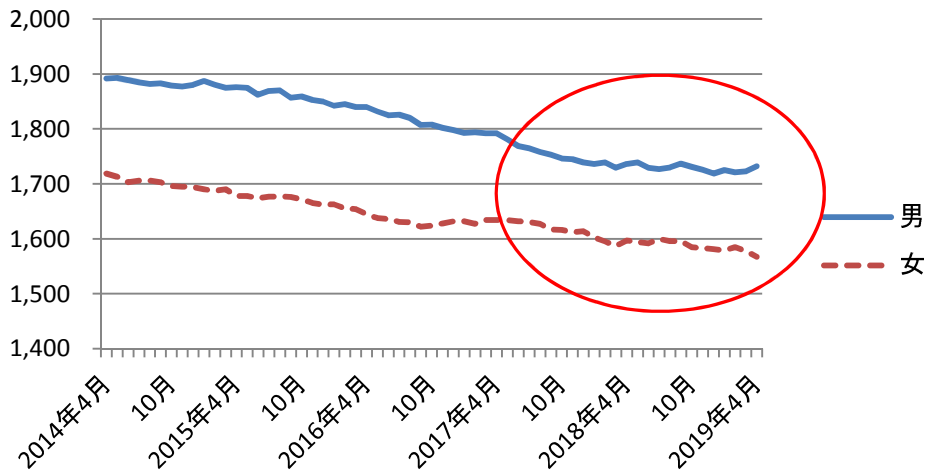


(出典) 長野県企画振興部情報政策課統計室

2019年3月1日現在の実績人口は25,182人(毎月人口異動調査)で、①実績型推計人口と比較して194人、②のチャレンジ目標の目標人口と比較すると▲92人となっています。第5次振興計画の計画期間で見ると、計画期間開始時(2016年4月)の25,057人から、125人の増加となっています。

①実績型推計人口 (2019年3月)	24,988人
②チャレンジ目標 (2019年3月)	25,274人
③計画開始時人口 (2016年4月)	25,057人
④2019年3月1日の人口	25,182人
(④－①) 現在人口と推計人口との差	194人
(④－②) 現在人口と目標人口との差	▲92人
(④－③) 計画期間での人口推移	125人

年少人口(0～14歳)の推移



※住民基本台帳人口使用

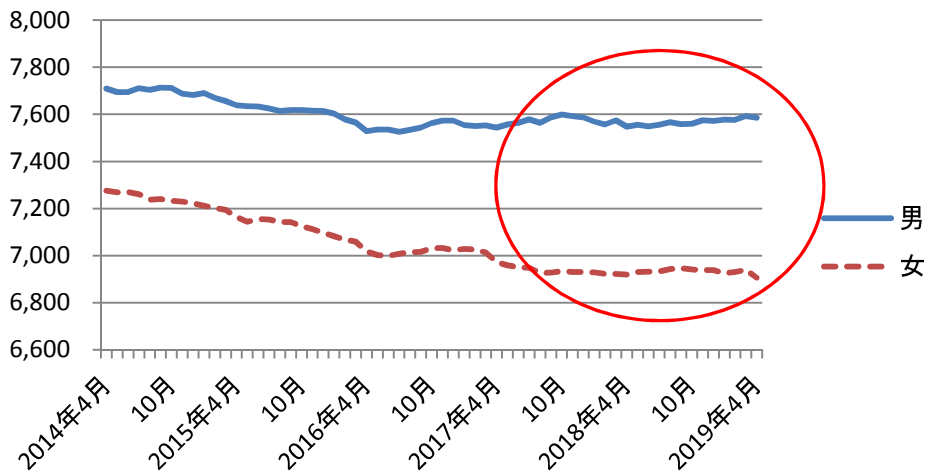
○年少人口

減少傾向が続いている

	2018. 4	2019. 4	増減
男	1, 736	1, 732	-4
女	1, 597	1, 567	-30
計	3, 333	3, 299	-34
※	13. 3%	13. 1%	0. 0%

※人口構成比

生産年齢人口(15～64歳)の推移



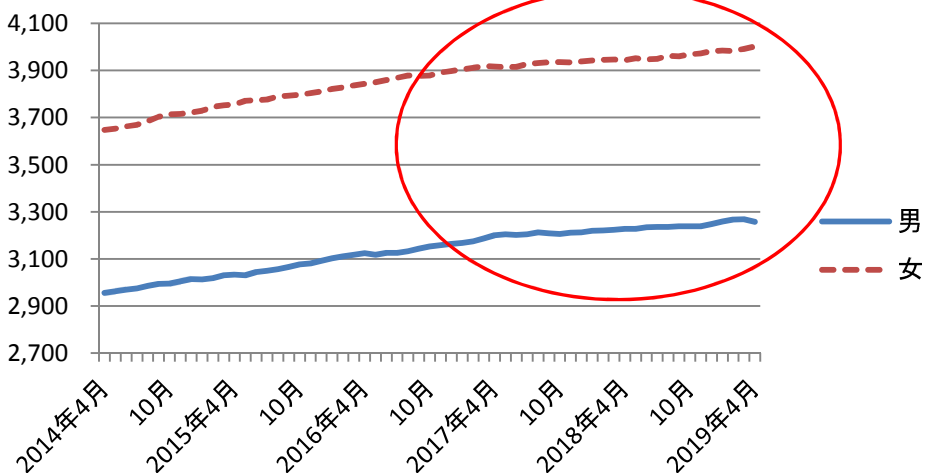
○生産年齢人口

男性は横ばい、女性は一減少から横ばいに推移

	2018. 4	2019. 4	増減
男	7, 548	7, 586	+38
女	6, 920	6, 906	-14
計	14, 468	14, 492	+24
※	57. 9%	57. 9%	0. 0%

※人口構成比

老年人口(65歳以上)の推移



○老年人口

増加傾向が続いているが、団塊の世代が高齢者となってから伸び率は鈍化傾向

	2018. 4	2019. 4	増減
男	3, 227	3, 258	+31
女	3, 944	4, 002	+58
計	7, 171	7, 260	+89
※	28. 7%	29. 0%	+0. 3%

※人口構成比

○人口に関する用語解説

【国勢調査における人口】

5年毎に実施される国勢調査の人口は「常住人口」であり、常住人口とは調査時に調査の地域に常住している者をいう。「常住している者」とは、当該住居に3か月以上にわたって住んでいるか、又は住むことになっている者をいい、3か月以上にわたって住んでいる住居又は住むことになっている住居のない者は、調査時現在居た場所に「常住している者」とみなす。 ※外国人含む

【毎月人口異動調査】

県が、最新の国勢調査人口を基礎に、住民基本台帳の状況を基に県内市町村から報告された人口及び世帯数の毎月の異動（出生・死亡・転入・転出・世帯増減など）を加減して推計、公表。

なお、人口ビジョンは平成22年の国勢調査結果を使用。

（参考 国勢調査 H22：26,214人 H27：25,241人）

【住民基本台帳人口】

各市町村に備え付けてある「住民基本台帳」に登録されている住民の数。国勢調査人口を基礎にしない。人口、世帯数、人口動態（転入、転出、出生、死亡など）を公表。 ※外国人を含む

※「毎月人口異動調査結果」と「住民基本台帳人口」は一致しない。